



明けまして、おめでとうございます。

指田建設 指田一利です。

年明けを迎えると「また365日が始まる」と思い、年の瀬を感じ始めると一年の過ぎゆく時間が年々早く感じます。

まずは、今年一年皆さまの「ご健康」をお祈りいたします。

昨年来の短時間での「世界経済の混乱」また日本の「政治状況の混迷」。今年一年はどんな年になるよう想像（創造）したら良いのでしょうか？

先々あるかもしれない、退職者も含めた「離職者」の増大。今までに経験をしたことの無い社会になってしまうのでしょうか？

今書きながら私は悲観したくない気持ちです。景気の事を考えれば「景気」の「気」は「気持ちの気」と聞きました。「気持ち」は私も含めひとりひとりが心の中に形作るもの、その形を目に見えるものにするのはその人自身です。ではその人が「自分である」のを感じるのはいつなののでしょうか？

同僚と会話が出来た時・挨拶をしたら快く返答を受けた時・何かに参加をし、共に充実した時がもてた時 等等様々でしょう。

私は自分を「単純」だと考えます。地域で先輩後輩と「ソフトボール」をしたり、「バンド演奏」で仲間が増えたり、自分をちょっと知ってくれるだけで心が落ち着きます。言い方を変えると「顔の見える仲間・お付き合い」はその人を安定させ、成長させてくれる作業の様な気がします。

今個々が出来ること、今年も始めましょう！

以前から「家づくり」は「家族づくり」・「地域づくり」と標榜していますが、やはりここを大事にしたいと思います。

人と住まい(予防医学住環境)講座

山本里見（東北住環境研究室代表 工博）

家庭内事故を防ぐ

○家庭内事故の実態を知ろう

家の中では、家が原因の事故が多発しています。

階段で転倒して怪我したり、台所でやけどをするだけでなく、最悪の場合は死亡にまでいたっています。安心して暮らせ、ゆっくりくつろげるはずの家の中での事故ですから、大変恐ろしいことです。事故の被害者は高齢者が多いのですが、乳児、幼児の事故もありますから、親をはじめ住んでいる人の注意が不可欠です。

家の中の事故で亡くなった人の実態をみましょう。総務省統計局が、毎年出している“人口動態統計”という資料に内容が詳しく載っています。

平成17年には、12,781人もいて、高齢者（65歳以上）がその84.0%を占めています。また、家庭内事故で入院した人はこの数の約100倍と推定されていますから、100万人以上となるでしょう。大変な数です。

原因は浴槽内での溺死、溺水による事故をはじめとして、その大部分が住んでいる家が原因といえます。同じ年の高齢者の路上交通事故死者が3,995名であることを考えるとその多さに驚かされます。

家庭内事故の原因とそれによる高齢者死者数（平成17年）

浴槽内での溺死、溺水	2,866人
気道閉塞を生じた食物の誤えん	2,235人
スリップ、つまずきによる同一平面上での転倒	978人
建物または建物内の管理されていない火への曝露	658人
建物または建造物からの転倒	406人
階段、ステップからの転落およびその上での転倒	344人



平成17年の数字だけ出しましたが、死者が毎年増えているのも心配になります。平成7年から11年の間に、浴槽内溺死・溺水：1.27倍、同一平面上での転倒：1.26倍、管理されていない火への曝露：1.37倍、階段ステップからの転落・転倒：1.24倍となっています。たった11年の間に3割弱も死者が増えているのです。この間の高齢者数増は1.40倍ですから、高齢者が増えたからとも考えられ、高齢社会の日本では今後非常に大きな問題になるでしょう。表のような事故は、住宅の一般的なバリアフリー対策だけでは防げないのがお分かりでしょう。事故例をしり、それへの適切・十分な対策をたてれば、あなたやご家族の身を守れるはずですよ。

（次回も、家庭内死亡事故の実態をみます。）

住宅ローン 減税

税制改正により減税がいままでより多くなりそうです。

耐震性が高いなど長寿命な「200年住宅(長期優良住宅)」に、平成23年末までに入居した場合、所得・住民税から、10年間で最高600万円(年間60万円)が控除されるものです。

これからの時代にあった、長持ちする家の建築をすすめるねらいで、政府が成立をめざしています。

耐震性を高めたり、耐久性を高めるためには、材料費や手間賃が一般的な住宅より高みます。その負担を軽減しようというものです。

長期優良住宅の新築などで、一般住宅より上乗せして必要となる額相当分を所得税から控除されます。
所得税から控除しきれない場合、97,500円を限度に住民税からも控除します。
(住宅ローンを利用しない場合も、減税措置が受けられる)

建築の際、200万円余分にかかったら、その10%の20万円が所得税から控除されます。

このほか、一般住宅の最大控除額も、今まで160万円だったのが、22年の入居までは500万円(年間50万円)に。

リフォーム税制

一定の省エネ・バリアフリー改修工事について、工事費用相当額(上限200万円)の10%を所得税額から控除。(平成21年4月1日～25年12月31日まで)

一定の耐震改修工事について、工事費相当額(上限200万円)の10%を所得税額から控除する制度を、一部変更の上5年延長。
(平成25年12月31日まで)

この他にも、省エネ改修工事について、住宅ローン残高(上限200万円)の1.0%または2.0%を5年間所得税額から控除する制度も延長されます。
(平成25年12月31日まで)

狭山市の耐震改修補助制度や介護保険の住宅改修費支給制度などのような、自治体の補助制度を使って負担を少なくすることもできます。

寒 紅 (かんべに)



紅の原料は紅花です。寒中に製造した紅は発色も良く、品質も最上とされました。
紅花の花弁に含まれるカルタミン(紅色の素)は、保湿や血行を良くする効果があるようですから、紅は化粧以外に、薬用としても備え置きしていたようです。小児が誤って舌を噛んだり、口を怪我した時などは、寒紅の猪口を舐めさせたようです。また、疱瘡に罹った時などにも紅で染めた肌着などを着せました。
丑の日につける紅は口中の虫を殺すなどといわれ、昔は「丑紅」として売り出され、女性たちはこの日を待って紅を買ったようです。丑の日、というのは牛のように寒中を強く過ごせるように、という縁起もありました。
明治時代までは、「寒紅売り」が来たり、また、小間物屋などでは、紅を買う客に泥製の金色と黒色の牛の玩具を呉れたということでした。

万 両



彩りが少なくなった冬の庭で、赤い実をつける万両や千両。
お正月の縁起物でもあります。
花言葉も、富、お金持ち。

日本では、喜ばれるのにアメリカのフロリダでは、万両が群生して有害な帰化植物になっているそうです。

♪ 編集後記 ♪

おかげさまで、無事に新年を迎えることができました。
本年もよろしくお願い致します。
見上げてごらん夜の星を… 上を向いて歩こう…
最近、九ちゃんの歌が心にしみるのは、年をとったせい？
いえいえ歌がいいからですね。
大変な時代だからこそ、平凡に見える毎日を大切に、
笑顔で上を向いていきたいものです。 (久)

